

九大学研都市メールマガジンvol.165 (令和6年12月号)

opack\_mailmagazine

九大学研都市メールマガジンvol.166 (令和7年1月号)

opack\_mailmagazine

本メルマガ配信を行っております<emagazine@opack.jp>は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ<<https://www.opack.jp/>>内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

【締切間近】「九州大学学術研究都市フォーラム」申込受付中！  
1月28日(火)に電気ビル共創館で開催する標記フォーラムの申込みを現在受け付けています。  
来週16日が申込締切となっておりますので、お早目にお申込みください。  
詳細やお申込はこちらから <https://www.opack.jp/events/detail/584>

○\*\*INDEX\*\*○

- 九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ -

【1】2025年1月28日(火)開催  
九州大学学術研究都市フォーラム  
～九州大学発スタートアップ創出による価値創造にむけて～

【2】2025年1月8日・15日・22日・29日(毎週水曜日)開催  
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)  
「Brown Bag Seminar Series 第171回～第174回」

【3】2025年1月22日(水)開催  
九州大学ビジネス・スクール  
経営幹部の育成に課題を持つ企業向けセミナーのご案内

【4】2025年1月27日(月)～1月31日(金)開催  
「九州大学エネルギーウィーク2025」の開催について

【5】2025年1月29日(水)開催 上記イベントの一環  
九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市連携  
「グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム～地域の未来への展望～」

【6】2025年1月30日(木)・31日(金)開催  
福岡県水素グリーン成長戦略会議  
令和6年度人材育成セミナー参加者募集中！

【7】2025年2月6日(木)開催  
九州大学人系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション  
知の形成史#13「多様性の理解への新たな視座を求めて」

1 九州大学学術研究都市フォーラム  
～九州大学発スタートアップ創出による価値創造にむけて～

概要

2024年4月に九州大学の産学官連携を先導する組織として、九州大学が100%出資する事業会社として九大OIP株式会社が設立され、九州大学発のイノベーションが加速しています。

一方で、九州経済界においても産学官金による連携の動きも活発になってきており、九州大学が有するリソースの価値を最大化するために、経済界に期待される役割も高まっています。

本セミナーでは、産学官連携における現状や将来像のほか、民間企業出身者が創業した事業会社における実例もご紹介いただきながら、産学官連携の更なる促進を図ることを目的に開催します。

日時 2025年1月28日（火）15:00～18:00（14:30開場）

場所 電気ビル共創館 3階 カンファレンスA  
（福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号）

#### 内容

- （1）主催者あいさつ（5分）15:00～15:05  
（公財）九州大学学術研究都市推進機構 理事長 貫 正義
- （2）九州大学学術研究都市の現状（10分）15:05～15:15  
（公財）九州大学学術研究都市推進機構 事務局長 荻原 憲介
- （3）基調講演（30分）15:15～15:45  
『九州大学発スタートアップ創出のために 大学側が提供できる価値とは』  
九大OIP株式会社 代表取締役 大西 晋嗣 氏
- （4）九州大学発スタートアップ企業による講演（40分）15:55～16:35  
『ビジネスの視点から 研究シーズの可能性を発見するために』  
KAICO株式会社 代表取締役 大和 建太 氏
- 『在学中に携わった研究室とともに 企業経験を経て起業する強み』  
SACMOTs COO候補 田島 大地 氏
- （5）トークセッション（20分）16:35～16:55  
[モデレーター]  
Fukuoka Growth Next：さくらインターネット株式会社 香月 啓佑 氏
- （6）閉会あいさつ（5分）16:55～17:00  
一般社団法人九州経済連合会 常務理事 田中 徹 氏
- （7）名刺交換会（60分）17:00～18:00  
名刺交換会へのご参加は任意です

対象者 大学発のスタートアップ創出に関心がある新規事業や商品開発、投資などを担当されている企業の方をメインとはしていますが、どなたでも参加可能です

定員 先着100名

参加費 無料

申込期限 要申込 2025年1月16日（木）

申込方法 下記のページからお申込みください。  
<https://www.opack.jp/events/detail/584>

問い合わせ 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）担当：照山  
電話：092-805-3677

<主催> 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）  
<共催> 九州大学学術研究都市推進協議会

<後援> 国立大学法人九州大学、一般社団法人九州経済連合会、福岡県、福岡市、糸島市、福岡経済同友会、一般社団法人九州ニュービジネス協議会

・九州大学学術研究都市フォーラムチラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33200\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33200_file.pdf)

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)

～Brown Bag Seminar Series～

- 2 第171回『環境・植物情報の見える化と局所環境調節で挑む施設園芸農業のスマート化』
- 第172回『生物季節(フェノロジー)とBVOC』
- 第173回『異文化間臨床心理学の視点で考える留学生教育』
- 第174回『農業経済学研究におけるAI活用の可能性』

～Brown Bag Seminar Series(2025年1月分)の御案内～

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)では「Brown Bag Seminar Series」を2021年4月から毎週水曜日のランチタイムに開催しております。本学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆様の御参加をお待ちしております。

<各回共通>

形式 オンライン(Zoom Webinar)

言語 日本語・英語(同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応)

定員 500名

対象者 どなたでも参加可能

参加費 無料

詳細 右記URLをご覧ください <https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室

TEL: 092-802-2605 / E-mail: [iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp)

【第171回】

タイトル 『環境・植物情報の見える化と局所環境調節で挑む施設園芸農業のスマート化』

(\*キーワード/スマート農業、園芸農業、局所環境調節、農業気象学、植物の生理生態機能)

日時 1月8日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 安武大輔 准教授(農学部 生物資源環境科学科)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_QUPCdIw6Q1KlebHLcxYwNg](https://zoom.us/webinar/register/WN_QUPCdIw6Q1KlebHLcxYwNg)

【第172回】

タイトル 『生物季節(フェノロジー)とBVOC』

(キーワード/生物リズム、フェノロジー、気候変動、植物、遺伝子、ゲノム、予測、突然変異)

日時 1月15日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 佐竹 暁子 教授(理学研究院 生物科学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_GPfr8ISzQLK4530WiBC1bg](https://zoom.us/webinar/register/WN_GPfr8ISzQLK4530WiBC1bg)

【第173回】

タイトル 『異文化間臨床心理学の視点で考える留学生教育』

(\*キーワード/留学生、国際化、多文化共生)

日時 1月22日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 黄 正国 准教授(留学生センター)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_uPwmiw0zR4eWZpehhKGreA](https://zoom.us/webinar/register/WN_uPwmiw0zR4eWZpehhKGreA)

・ ・ ・ ・ ・  
【第174回】

タイトル 『農業経済学研究におけるAI活用の可能性』

( \*キーワード/スマート農業、AI、農業生産の最適化 )

日時 1月29日(水) 12時10分～12時50分

登壇者 野村 久子 准教授(農学研究院 附属国際農業教育・研究推進センター)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_vMh8RQqIT52UXpwqaGg92g](https://zoom.us/webinar/register/WN_vMh8RQqIT52UXpwqaGg92g)

・ ・ ・ ・ ・  
・ Brown Bag Seminar Seriesチラシ : [https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33201\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33201_file.pdf)

3 九州大学ビジネス・スクール

経営幹部の育成に課題を持つ企業向けセミナーのご案内

概要

「ビジネス・スクールは企業の人材育成にどのように役に立つのか」

近年、人的資本経営の重要性が叫ばれ、人的資本投資、すなわち人材育成が新たな経営課題として浮上しています。

特に、次世代を含む経営幹部の育成は、企業が独自で取り組むのは容易ではなく、多くの企業にとって頭の痛い問題になっているのではないかと思います。

このセミナーでは、企業経営や人材育成、特に経営幹部の育成に関して豊富な実務経験を有する九州大学ビジネス・スクールの教員が、これからの時代の人材育成とビジネス・スクールの役割について問題提起し、皆さんとディスカッションをさせていただきたいと考えております。

ぜひこの機会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

-----  
日時 令和7年1月22日(水) 15:00～17:00

-----  
場所 JR博多シティ10階会議室C+D

福岡市博多区博多駅中央街1-1 (JR博多駅中央改札口より徒歩3分)

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>

-----  
テーマ

1. 問題提起とディスカッション

「ビジネス・スクールは企業の人材育成にどのように役に立つのか」

小城 武彦 教授

碓 邦生 講師

2. 質疑応答

-----  
セミナーの詳細は下記URLをご覧ください。

<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/news/9683>

-----  
対象者 一般企業・官公庁等の人事ご担当者

-----  
定員 先着30名程度

-----  
参加費 無料

-----  
申込期限 令和7年1月22日(水)

-----  
申込方法 下記申込フォームよりお申込み下さい。

<https://forms.gle/kBdXEFRMMaX8U47S6>

人材育成のお悩み・当日議論したいことなどを自由にご記入ください。

-----  
問い合わせ QBS支援室 [qbs\\_econ.kyushu-u.ac.jp](mailto:qbs_econ.kyushu-u.ac.jp)

を@に変えて送信してください

-----  
・経営幹部の育成に課題を持つ企業向けセミナーチラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33202\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33202_file.pdf)

#### 4 「九州大学エネルギーウィーク2025」の開催について（2025/1/27-1/31）

##### 概要

九州大学では、2025年1月27日から31日に、「エネルギー分野の英知が垣根を越えて結集：研究シーズから展望するエネルギーの未来革新技術」をテーマに、「九州大学エネルギーウィーク2025」を開催します。

今回は、持続可能なエネルギー技術の革新とその社会実装に焦点を当て、本学のエネルギー研究教育機構（Q-PIT）やカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I<sup>2</sup>CNER）のほか、九州地区再生可能エネルギー連携委員会、九州先端科学技術研究所（ISIT）などによるシンポジウム・ワークショップを開催します。また、本学の若手研究者や博士課程学生による研究発表も実施します。

さらに、エネルギーウィークの関連イベントとして、2月5日に九州大学水素材料先端科学センター（HYDROGENIUS）によるフォーラムを開催します。

ぜひ、参加者同士の交流や研究成果の考察を深める機会として、多くのイベントにご参加ください。

##### 『九州大学エネルギーウィークについて』

毎年1回、1月最後の週を起点に開催されるエネルギーに関するイベントです。学内外のエネルギー関連部局が連携して、「未来エネルギー」を中心テーマとするシンポジウムやワークショップを開催し、エネルギー研究者の国際的なハブ機能を担う交流の場としての役割を果たしています。国内外の大学、研究機関をはじめとして、産業界や行政の関係者など、毎年多くの方々にご参加いただいています。

日時 2025年1月27日（月）～ 1月31日（金）（関連イベント：2月5日（水））

場所 九州大学 伊都キャンパス・馬出キャンパス、アクロス福岡など  
一部オンラインでの配信もございます。  
詳細は公式ホームページをご覧ください。

##### 内容

1月27日（月）

###### 【エネルギー研究教育機構（Q-PIT）】

・プレナリーセッション [ 日 ]

（ プレナリーセッション後、九州脱炭素化研究会（Q-DeCS）企業賞 授賞式を開催）

・フォーカストセッションA [ 日 ]

1月28日（火）

###### 【エネルギー研究教育機構（Q-PIT）】

・フォーカストセッションB / 再生可能エネルギー連携フォーラム [ 日 ]

（九州地区再生可能エネルギー連携委員会との共催）

・フォーカストセッションC [ 日 ]

1月29日（水）

###### 【カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I<sup>2</sup>CNER）】

・I<sup>2</sup>CNER Annual Symposium [ 英 ]

【九州先端科学技術研究所（ISIT）、福岡市、九州大学】

・九州大学-ISIT-福岡市連携 グリーントランスフォーメーション（GX）シンポジウム [ 日 ]

1月30日（木）

###### 【カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I<sup>2</sup>CNER）】

・I<sup>2</sup>CNER Thrust Workshop（エネルギー変換科学ユニット） [ 英 ]

・I<sup>2</sup>CNER Thrust Workshop（物質変換科学ユニット、マルチスケール構造科学ユニット） [ 英 ]

・I<sup>2</sup>CNER - IMI International Joint Workshop [ 英 ]

1月31日（金）

【持続的共進化地域創成拠点（COI）】  
・持続的共進化社会シンポジウム〔日〕

<関連イベント>

2月5日（水）

【水素材料先端科学研究センター（HYDROGENIUS）、九州経済産業局】  
・九州水素フォーラム2025～水素社会の推進に向けて～〔日〕

対象者 どなたでもご参加頂けます。

定員 プログラムによって異なりますので、エネルギーウィーク公式ホームページ  
< <https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja> >よりご確認ください。

参加費 無料

申込方法 エネルギーウィーク公式HPの参加登録ページからご登録ください。  
<https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

問い合わせ 九州大学I2CNER・Q-PIT共通事務支援室学術支援渉外グループ  
TEL：092-802-6934 FAX：092-802-6939  
Mail：eneweek@jimu.kyushu-u.ac.jp

・九州大学エネルギーウィーク2025チラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33203\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33203_file.pdf)

## 5 九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市連携 グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム～地域の未来への展望～

### 概要

九州大学エネルギーウィーク2025の一環として、九州大学および福岡市と連携して、グリーントランスフォーメーションに関するシンポジウムを開催いたします。  
今、世界的に注目されている水素エネルギーの商用利用の最新情報について九州大学とトヨタ自動車講演を行います。  
また、カーボンニュートラルに資する製品やサービスの開発に取り組む市内中小企業の支援を行う「福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業(福岡市が令和4年度から実施)」の採択事業者の発表を通して、GXの取組みがもたらす地域の未来への展望を考えます。  
カーボンニュートラル、水素エネルギーの現状を知ることができる貴重な機会です。  
ぜひご参加ください。

日時 2025年1月29日（水）13：30～16：30（13：00 受付開始）

場所 アクロス福岡7F 大会議室  
（現地開催のみでオンラインでの実施はありません）

### 内容

基調講演 「エネルギーの地産地消を目指す水素活用の取組み」

九州大学 工学研究院 機械工学部門 准教授 立川 雄也

基調講演 「商用モビリティ分野のカーボンニュートラルの取組み」

トヨタ自動車CJP企画部 グループマネージャー 石川 大悟

事業紹介 「福岡市内企業の脱炭素ビジネスへの取組み紹介」

【登壇予定企業】

株式会社JCCL / 株式会社協栄エレクトロニクス / 日本乾溜工業株式会社 /

株式会社ユレタリング / ローカルフードサイクリング株式会社

【ファシリテーター】

九州大学 水素エネルギー国際研究センター 教授 西原 正通

九州大学大学院 芸術工学研究院 芸術工学専攻 環境設計部門 准教授 早瀬 百合子

独立行政法人 国際協力機構 九州センター（JICA九州）企業連携課長 後藤 伸也

定員 先着100名

---

参加費 無料

---

申込期限 2025年1月28日(火)

---

申込方法 「九州大学エネルギーウィーク2025」からの申込  
<https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

---

問い合わせ 公益財団法人九州先端科学技術研究所 事業調整部  
TEL : 092-852-3460 Email : [isit-jigyochosei@isit.or.jp](mailto:isit-jigyochosei@isit.or.jp)

---

・グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム チラシ :  
[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33204\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33204_file.pdf)

## 6 福岡県水素グリーン成長戦略会議 令和6年度人材育成セミナー参加者募集中!

### 概要

福岡県水素グリーン成長戦略会議 令和6年度人材育成セミナー「水素入門コース」の参加者を募集中です!

本コースでは、水素分野への参入に興味を抱いている企業の経営者や営業担当者を対象に、「水素分野のアプリケーションについて幅広く学び、自社技術を活かした参入のイメージを描くこと」を目的として、水素の利活用の関わる技術動向等について幅広く情報提供を行います。

詳細なカリキュラムについては、福岡県水素グリーン成長戦略会議ホームページ (<https://f-suiso.jp/event/event-3962/>)をご覧ください。

---

日時 令和7年1月30日(木) 10:45~15:50  
令和7年1月31日(金) 10:00~16:50

---

場所 オンラインのみ

---

対象者 水素分野への参入に興味を抱いている企業の経営者や営業担当者

---

定員 200名

---

参加費 県内企業 1,000円  
県外企業 3,000円

---

申込期限 令和7年1月22日(水曜日)まで

---

申込方法 福岡県水素グリーン成長戦略会議HP (<https://f-suiso.jp/event/event-3962/>)より申込。

---

問い合わせ 福岡県水素グリーン成長戦略会議事務局  
(福岡県商工部自動車・水素産業振興課内)  
TEL : 092-643-3448 FAX : 092-643-3847 Email : [info@f-suiso.jp](mailto:info@f-suiso.jp)

---

## 7 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション 知の形成史 #13 「多様性の理解への新たな視座を求めて」

### 概要

本シリーズでは、毎回人社系の先生をお呼びして、具体的な研究のお話をうかがいながら、いま一度それぞれの領域の「出来(いでき)はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社

会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

第13回目は人間環境学研究院から、内田若希先生をお呼びして、パラスポーツについてお伺いしていきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2025年2月6日(木) 14:50-16:20

場所 九州大学伊都キャンパス 九州大学中央図書館4階 Sky Cute. Commons(きゅうとコモンズ)、オンライン会議形式 (Zoom)

内容 知の形成史 #13 「多様性の理解への新たな視座を求めて」  
東京2020パラリンピックの開会式で、「片翼の小さな飛行機」の演出が感動的だと話題を集めた。翼がひとつしかない小さな飛行機が、困難を乗り越え最後には飛び立つという演出は、パラアスリートの姿を象徴するものであった。一方で、能力のある者が優れているというエイブリズムの片鱗を垣間見た気がした。私たちが生きる社会には、「片翼の飛行機」も「両翼の飛行機」も存在する。そしてその誰もが、「飛べても良いし、飛べなくても良い」「飛んでも良いし、飛ばなくても良い」はずだ。あるがままの多様な存在と自由な選択肢が内包されてこそ、真の共生社会に歩みを進められるのではないか。答えが簡単には出ないこの問いを、みなさんと一緒に考える時間としたい。

対象者 どなたでも参加可能です。

定員 なし (対面の場合は50人)

参加費 無料

申込期限 2025年2月4日 (火)

申込方法 事前申し込み

下記URLへアクセスのうえ、事前参加申込をお願いします。

[https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event\\_30.html](https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_30.html)

問い合わせ 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ

HP : <https://commons.kyushu-u.ac.jp/>

E-mail : [enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp](mailto:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp)

・知の形成史#13チラシ : [https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33206\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33206_file.pdf)

----- 事務局からのお願い & お知らせ -----

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK) では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。

産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

詳細

[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。  
info@opack.jp

---